

県内景況情報

2月期

● 製造業

〈食料品〉

〔パン・菓子製造業〕

売り上げは前年比、減少しており、更なる材料費の高騰が見込まれる中、収益状況は悪化すると思われる。

〔野菜漬物製造業〕

秋からの暖かさで野菜相場は、豊富な為安価で移行。地域ローカル業者の納品先が大手全国チェーン店に押され縮小しており、苦戦。

〈木材・木製品〉

〔建築材料小売業〕

昨年同月と比べても、若干の落ち込みはあるが、何とか同水準をキープできている。

〈鉄鋼・金属〉

〔鋳物・鋳鉄〕

先月までは、前年と比較すれば微増だが、例年の平均程度までようやく回復というところで、景気が良いとは言えない。先行きに不透明感があり、中堅の人手不足感が続いている。全体とすれば変わらず。

〈一般機械〉

〔一般機械器具製造業〕

受注状況等、特に変化なし。

〈電気機器業〉

〔電気機械器具製造業〕

2月度売上高は、先月より若干増加（前年同月比では同等）。年度末に向け、受注拡大を期待している。米・中の貿易摩擦の影響による中国国内景気減速の拡大を懸念している。産業用ロボット関連は、依然国内外共好調に推移しており来月度以降の増産を期待している。

〈その他の製造業〉

〔豊等生活雑貨製品製造業〕

組合全体は、各地域仕事が出掛かってきているので例年月と変わらない状況で仕事量（受注量の多いところと少ないところ）の店の格差が年々増えていることを注視している。わが社は受注量満杯状態で多忙である。

● 非製造業

〈小売業〉

〔食肉小売業〕

売り上げは横這い。仕入価格は、豚コレラの影響で、豚肉の供給が減り、豚肉価格はやや上昇。粗利は微減。人件費は相変わらず上昇基調。

〔花・植木小売業〕

高齢化のため廃業する組合員、後継者がいない生産者。生花から野菜に転業する農家。業界が小さくなっている。

〈卸売業〉

〔電気機械器具卸業〕

建設業の人手不足、暖冬化により売上不振が続いている。

〈商店街〉

〔福岡市〕

商店街への来場客数を増やす為の工夫・イベントが課題である。自店だけではなかなか厳しいと考えている。

〈サービス業〉

〔ビル管理業〕

当月の売上は、前年同月と比べると約16%の減少、且つ、前々年同月と比べると約14%の売上減少となった。

〈建設業〉

〔職別工事業〕

見積物件数は減少しているが、手持工事量は堅調に推移している。高力ボルトの納期（9ヵ月以上）が一段と厳しくなって、いつ改善されるかわからない状況である。

〈運輸業〉

〔道路貨物運送業〕

2月も各組合員平均で売上は増加しているが、収益はこのところの恒常的な燃料単価高騰が影響し前年比マイナスとなっている。燃料単価については一進一退で高値が継続している。

福岡県の業種別D・I値の変化

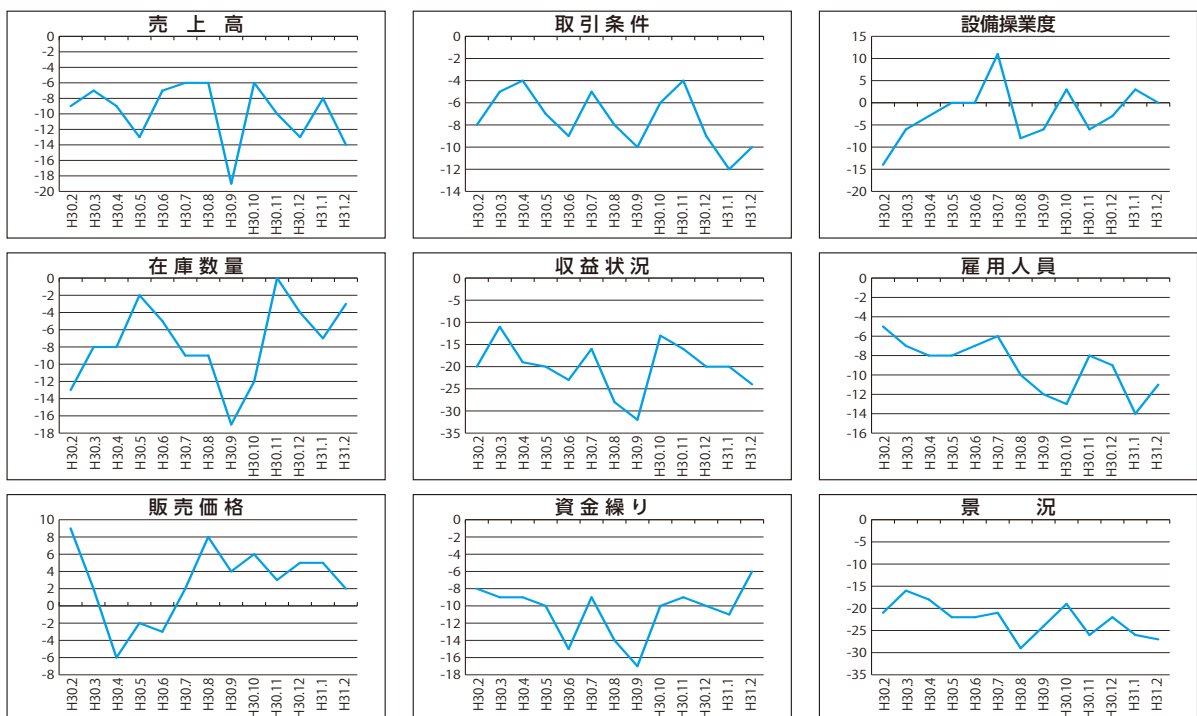
(福岡県中小企業団体中央会調査)

業種	項目	前年同月比								
		売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	景況
製造業	食料品	↓	→	→	→	↓	→	→	→	↓
	繊維・同製品	↓	↓	→	↓	↓	↓	↓	↓	↓
	木材・木製品	↓	→	→	→	→	→	→	→	→
	印刷	↓	→	→	→	→	→	→	→	↓
	窯業・土石製品	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	鉄鋼・金属	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	一般機器	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	電気機器	↑	→	→	→	→	→	→	→	→
非製造業	卸売業	↓	→	→	→	↓	→	—	→	↓
	小売業	↓	→	→	→	↓	→	—	→	↓
	商店街	→	→	→	→	→	→	—	→	↓
	サービス業	→	—	→	→	→	→	—	→	→
	建設業	→	—	→	→	→	→	—	→	→
	運輸業	→	—	→	→	↓	→	—	→	→
D・I		-14	-3	2	-10	-24	-6	0	-11	-27

↑ 増加・上昇・好転 ↗ 増加・上昇・好転の傾向 → 不変 ↘ 減少・下落・悪化の傾向 ↓ 減少・下落・悪化

D・Iとは…Diffusion Index(ディフュージョン・インデックス)の略で、企業の業界感や設備、雇用人員の過不足などの判断を指数化したものである。前年同月に比べ「好転」・「増加」したとする割合から「悪化」・「減少」したとする割合を差し引いた値。

●前月比D・Iの動きをみると、9項目中3項目が上昇した。



全国中小企業団体中央会では、ホームページ上で月次景況調査(情報連絡員全国集計)を公開しておりますので、ぜひご覧下さい。

全国中小企業団体中央会ホームページ <http://www.chuokai.or.jp/>